世界経済の混乱期を乗り越え、成長するために

代表取締役会長　東　哲郎

2008年10月31日

東京エレクトロン

世界経済の混乱期を乗り越え、成長するために

1. **転換点を迎えた世界経済**

2. **リセッションをバネに利益体質を強化**

   損益分岐点比率を下げる

3. **高水準の成長投資を継続**

   研究開発費配分の最適化
   M&Aにはポジティブスタンスで

4. **経済混乱期を乗り越えるために、堅固な財務基盤の保全に努める**

   当面、不測の事態および成長投資の機会の到来に備え、可能な限りキャッシュ・ポジションを維持

当期配当予想修正について

下期当期純利益の下方修正に伴い、配当予想を減額修正

	1株当たり配当金		
	2Q末	期末	年間
前回予想 (8.08発表)	19円	21円	40円
今回修正	20円 (決定)	4 円	24円
当期純利益および 配当性向	173億円 20.6%	▲93億円	80億円 53.7%

9月以降の大きな金融市場の混乱の推移を見極める必要があると判断し、株主還元の基本方針である「配当性向20%」は今回原則として維持する。ただし、期末配当については、下期業績が赤字となる見通しであるが、株主様のご期待にお応えするため、4円の配当予想とする。